



きた

2019
4

月号



楽/天と漫/画

1. 近代漫画の先駆者

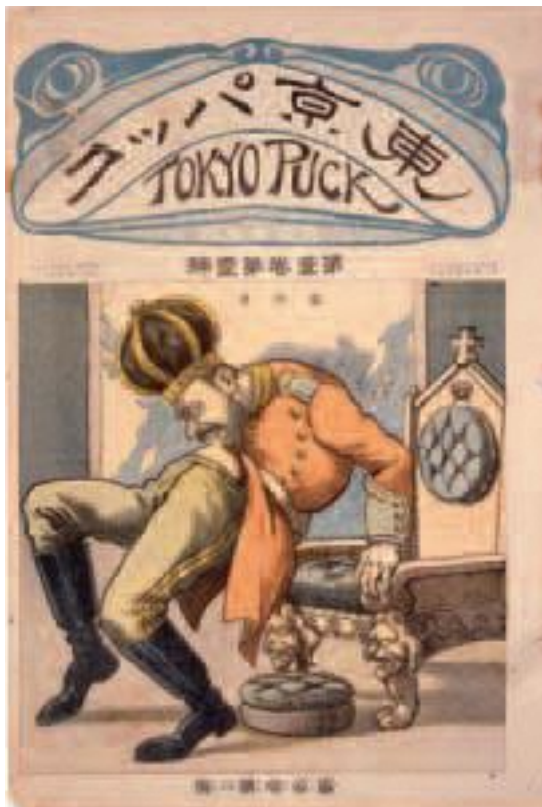
2. 近代漫画の誕生
3. コマ漫画の登場
4. カラー漫画雑誌の誕生
5. 幅広い執筆活動
6. 家庭用雑誌の誕生
7. 楽天が生み出したキャラクター
8. 世界周遊の旅
9. 晩年の楽天

北区には、「盆栽」と並んで世界に誇る「漫画」があります。

日本近代風刺漫画の祖である北沢楽天は、明治から昭和初期にかけて活躍した日本で最初の職業漫画家です。当時「ポンチ絵」として評価の低かった風刺画を、洗練された芸術性と社会性のある近代漫画として確立させた人物です。

区内盆栽町にある北沢楽天の晩年の邸宅跡地には、日本初の漫画に関する美術館として漫画会館がつくられました。漫画を文化として育てていくことを目的としたこの美術館は、北沢楽天の功績をいまに伝えています。

今年度は、「市報さいたま」北区版の表紙で、北沢楽天の作品を紹介していきます。



作品紹介

「露帝噬臍の悔」

明治38(1905)年4月15日に発行され、北沢楽天が執筆・編集した日本初のカラー漫画雑誌「東京パック」創刊号の表紙を飾った作品で、楽天の代表作の一つとなっています。

掲載当時、不利になりつつあった日露戦争やロシア革命の発生によってその座が怪しくなり、悔しさの余り臍を噛むロシア皇帝の様子を描いています。

コラム

北沢楽天は、明治9(1876)年、大宮宿の名家・北沢家の四男として誕生しました。23歳で福沢諭吉が創設した時事新報社に入社し、新聞紙上に絵を描きます。当時「ポンチ絵」などと呼ばれて評価が低かった風刺画は、楽天によって大人から子どもまで楽しめる「漫画」として確立しました。

楽天は、近代漫画の基礎を築き、日本で漫画家として大成した最初の人とも言われています。



問合せ 北区コミュニティ課 ☎669・6020 FAX669・6161
漫画会館 ☎663・1541 FAX667・4921

北区役所 〒331-8586 北区宮原町1-852-1 ☎653・1111(代表) FAX669・6160 編集:北区コミュニティ課
※この電話は、さいたまコールセンターにつながります。

●人口/146,962人(男/73,279人 女/73,683人) ●世帯数/66,983世帯 ●面積/16.86km²(平成31年3月1日現在)